

深町歴史散策

(10)

菰ヶ岩と所主権現

高崎 壽郎

菰ヶ岩
ずっとずっと昔の話。
ある夜、頼貞(現沖田)の太
平さんの夢枕に、高貴な翁がた
ってこう言われた。
「この村の開拓者は、わたしの
子孫である。だから、これから
先も永久に、わたしはこれを守
護し、その繁栄と幸を祈ってい
る。もし、それが信じられない
なら、九文久(下組の地名)の
岩上へ行ってみよ」と。
大平さんは、大層驚き、夜明
けを待って
その地へ急
ぎ調べたと
ころ、大き
な岩の上に
菰が敷かれ
その上に御
幣(ひが)が一
基あるのを
みつけた。
夢は正夢
であり「奇
妙なことも
あるものよ
と、大平さ
んはうやう
やしく御幣
を俵持して
我が家に帰
り、早速、
社殿を建て
以上が「菰ヶ岩」に関する伝
説である。



菰ヶ岩(下組 菰口)

先日調べてみると、伝説の社
殿と菰ヶ岩とは約二キロ離れて
いた。岩は六トン余もあるうか
という巨石で、上面は菰が敷か

た跡のような模様がみ
え不思議である。
この岩は、県道拡張の
ため少し移動し、現在は下組菰
口の入口の山腹にある。
尚、菰ヶ岩横の山道をしばらく
く登っていくと、満汐梅林が見
えてくる。
所主権現
文政二年(一八一九)の深の
古地図に、所主権現(仏・菩薩
にならって称した神号)がでて
くる。
これは、村人が頼貞(通称よ
そだ)という所に神殿を設け、
深の開拓者を神様として奉祀し
たものである。伝説の大平さん
が建てたといわれる「社殿」と
同じ場所辺りだったと思われる。
深の先祖は、
伊予の国(現愛
媛県)大三島の
住人で、奈良時
代理の地をさ
がして広く諸国
を巡り歩き、つ
いに、この地に
足を止めたとい
われている。
元和二年(一
六一六)に千川
神社(深八幡宮)
が創建されるま
で、所主権現は
深の一の宮であ
った。
明治四二年(一
九〇九)に、
千川神社の末社
として、神社内
に転祀された。
現在、神社内
がある。
以前は、毎年旧
暦七月十六日
に、如何なる凶
作の歳も、必ず
所主権現へ太鼓
踊りを奉納する
ならわしがあっ
た。又、旧暦九

紫陽花の花が雨に打たれてい
っそう美しさをましています。
平素は、学校教育に心からの
ご協力をいただき感謝しており
ます。
さて、大阪、池田小学校の事
件を始め子どもを取りまく状況
は、不安いっぱいで厳しいもの
があります。深町では、数年来、
子どもたちの安全を願う「こども
一〇番の家」のご協力をいただ
いておるところですが、引き続き
きお引き受けくださっています。
それぞれのご家庭でも、ご確認
され、話しあっていたら、ご確
認と思ってお知らせする次第です。
なお、更に、ご協力いただけま
るご家庭がありましたら学校ま

- 為清商店様宅 一〇九八一
平岡功一様宅 同 五七八
沖西 三三様宅 同 二五六〇
深町 郵便局 同 二九六一
田島 宜幸様宅 同 一八〇九
西本 薫様宅 同 一三二一
藤川 敏和様宅 同 一三二一
ニホンケミカル 同 一九八六

記

でご連絡くだされば幸いに存じ
ます。よろしくお願いいたしま
す。
(お詫び)この原稿は先月いた
だきました。紙面の都合で今
号に載せさせていただきました。



「こども一〇番の家」について
深小学校校長 瀬畑美代子
同PTA会長 天木 雅之

町内会連合会活動報告

月十八日には、祭典を執行して
いた。
一、盆行事の時期が近づいたの
で七月七日執行部会、七月二
十一日役員会を開催して実行
計画をたてた。
本年は、新たに花火とやっ
さ踊りを行うこととなった。
又、カラオケを行わないこと
としたので、その予算でピン
ゴゲームの景品を充実するこ
ととした。
二、その他の決議事項
ア感謝状の贈呈基準
つぎに該当する方に、記念
品を添えて感謝状を贈呈す
る。

- (1) 連合会役員として長年に
わたり尽力し、深町の発
展・振興に貢献された方。
(2) 特定の事項について尽力
し、深町の発展・振興に
貢献された方。
イ藤井川のごみ処理
川にビニール等を流さない
様に努めると共に、秋以降
町内一斉清掃を行う。
ウ郷土誌発刊記念碑建立
町民会館敷地内に設置する。
エ連合会活動の活性化
会合・行事等へ多数の参加
が得られる様に努力する。
オ今後の行事日程
町民運動会 九月三日
市民体育大会 一月四日
敬老会 一月三十一日

00(平成12)年度町内会連合会収支決算書

収入の部

科目	金額	内訳
前年度繰越金	359,835	
一般会費	725,000	200円/1戸月×12月
盆行事特会費	180,600	
市助成金	464,000	市民体育大会=200,000 敬老会=264,000
諸収入	101,875	敬老会祝金、運動会参加賞等
預金利子	225	
合計	1,831,535	

支出の部

科目	金額	内訳
活動費(総務)	402,750	町民運動水 70,490 市民体育大会 273,684 ゲートボール大会 8,976 グラウンドゴルフ大会 13,280 ターレットゴルフ大会 10,170 ビーチバレーボール大会 26,150
助成金	250,000	子ども会 150,000 尚寿会 50,000 郷土誌 50,000
敬老会 盆行事	303,375 177,375	記念品・弁当代 ピンゴゲーム他
諸費	30,000	祝金(加太女子全同親会等)
負担金	15,000	防犯組合費
事務費	59,970	コピー・印刷代他
会議費	11,200	飲みもの
次年度繰越金	581,865	
合計	1,831,535	

郷土誌の購読のお願い
昨年、三原市合
併五〇周年を記念
して、新修深郷土
誌を発刊いたしま
した。その節は、多
数のご注目をいた
さき有り難うござ
いました。まだ在
庫が希望の所ま
でのご連絡くださ
い。一冊千円です。
〇六三一四七五六
高崎まで

